

平成25年度資源評価票(ダイジェスト版)

[Top](#) > [資源評価](#) > [平成25年度資源評価](#) > [ダイジェスト版](#)

標準和名 ヤリイカ

学名 *Loligo bleekeri*

系群名 太平洋系群

担当水研 東北区水産研究所



生物学的特性

寿命: 1歳
成熟開始年齢: 1歳
産卵期・産卵場: 冬～春季(1～4月)、九州～東北の沿岸各地
索餌期・索餌場: 夏～秋季(8～12月)、九州～東北の太平洋側、北方の冷水域では浅く、南方の暖水域では深い傾向がある、土佐湾では水深100～250mの底層
食性: 外套背長50mmまでは主に小型の浮遊性甲殻類、成長とともにより大型のオキアミ類やアミ類、170mm前後からは魚類
捕食者: 不明

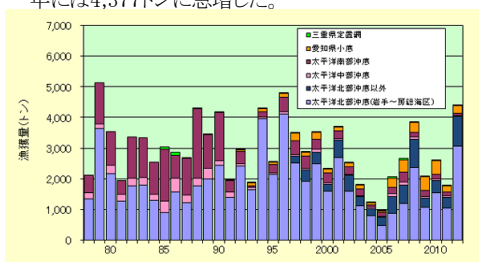


漁業の特徴

主に底びき網等で漁獲される。太平洋北部海域(岩手沖～房総沖)では1そうびきオッタートロール沖合底びき網(沖底)、太平洋中部海域(伊豆沖～熊野灘)では1そうびき沖底および愛知県外海小型底びき網(小底)、太平洋南部海域(紀州沖～薩南海域)では主に2そうびき沖底により漁獲される。また定置網でも漁獲される。

漁獲の動向

漁獲量は1978～2012年には947～5,121トンの間を増減した。1990年までは北部と中部・南部はほぼ同程度であったが、1991年に南部沖底で急減し、以後は北部が大部分を占めている。2005年に最低の947トンとなったが、その後、増減した後、2010年に2,596トンとなった。2011年には東日本大震災の影響により1,778トンに減少したが、2012年には4,377トンに急増した。

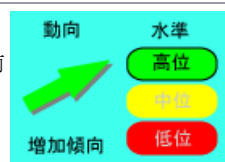


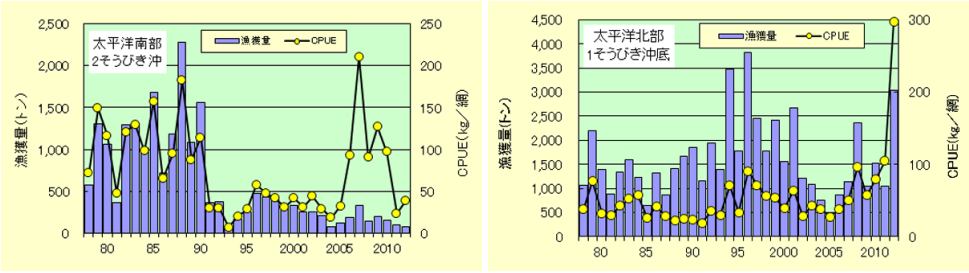
資源評価法

太平洋北部と太平洋中部・南部とでは、資源指標値の変化傾向が異なるため、両者を分けて資源評価を行った。太平洋北部では1そうびきオッタートロール沖底のCPUEを、中部および南部では2そうびき沖底のCPUEを資源量の指標とした。系群全体として、漁獲量の大部分を占める北部での結果を優先した。

資源状態

北部1そうびきオッタートロール沖底のCPUEは、1985～1993年に低水準が続いたが、1994～2009年には中～低水準の間を変動した。2011年には東日本大震災の影響で有効努力量が大幅に減少したが、CPUEは高水準となり、2012年には過去最高に達した。南部2そうびき沖底のCPUEは、1990年まで中水準を基調に高～低水準の間を変動していたが、1991～2005年は低水準が続いた。2006～2010年では中～高水準となったが、2011年に大幅に減少して低水準となり、2012年も低水準に留まっていた。系群全体の資源状態は、漁獲量の大部分を占める太平洋北部を優先し、高位・増加と判断した。





管理方策

水準・動向が高位・増加にある本資源の管理目標としては、資源の適切な有効利用を図るべきである。基本規則2-1)により $\delta_1 \cdot \text{Cave} \cdot \gamma_1$ として、北部と中部・南部それぞれのABClimitを算出し、合計したものを系群全体のABClimitとした。 δ_1 は資源状態によって決まる係数(北部1.0、中部・南部0.6)、Caveは2010～2012年の漁獲量の平均値、 γ_1 は資源量指標値の過去3年の傾きと平均値から求める係数(北部1.68、中部・南部0.46)である。これに安全率0.8を乗じてABCtargetとした。系群全体の δ_1 は漁獲量の多い北部を重視して1.0とし、系群全体の γ_1 を求めると1.45となる。

	2014年漁獲量	管理基準	F値	漁獲割合
ABClimit	4,200トン	$1.0 \cdot \text{Cave}3\text{-yr} \cdot 1.45$	—	—
ABCtarget	3,400トン	$0.8 \cdot 1.0 \cdot \text{Cave}3\text{-yr} \cdot 1.45$	—	—

- Cave3-yrは2010～2012年の平均
- ABCは100トン未満を四捨五入した値

資源評価のまとめ

- 北部1そうびオットートルール沖底のCPUEから、北部では高位・増加
- 南部2そうび沖底のCPUEから、中部および南部では低位・減少
- 漁獲量の多い北部を重視して、系群全体として高位・増加と判断

管理方策のまとめ

- 北部では資源の有効利用を図るべき
- 東日本大震災後の北部での漁獲努力量の変化を見守る必要
- ヤリイカ漁獲量と水温との関係から温暖化の影響が示唆される

執筆者: 服部 努・伊藤正木・成松庸二・柴田泰宙

資源評価は毎年更新されます。